

# 情報文化・映像文化の発信拠点として

石川県立生涯学習センター

担当課長 石野 周

(学習情報グループリーダー)

## 一 はじめに

石川県立生涯学習センター学習情報グループは、石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」の運用、まなびすとルームの運営などの業務を担当している。

また、学習情報グループ内には、石川県視聴覚教育協議会の事務局が置かれ、視聴覚教育の推進を図る業務も担当している。

ここでは、これらの業務の中で、重点的に取り組んでいることを、いくつか取り上げ紹介する。

## 二 石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」

当センターでは、県民が生涯学習に必要な資料・情報を効率的に得られるよう「あいあいネット」による情報提供を充実し、利用促進を図っている。

当システムは、平成4年3月より、市町村向けにパソコン通信で運用を開始し、平成11年4月よりインターネット上で情報提供を始めた。

このシステムのデータベースは次の5分野から構成される。

①講座案内：県内の各種講座、講演会等



②講師案内：講演会、学習会等の講師や地域の指導者等

③視聴覚教材：16ミリフィルム、ビデオ、DVD教材一覧

④ふるさと情報：県内の名所、史跡、名物、観光コース等

⑤イベント情報：県内の各種事業、イベント、催し物等

左は現在の「あいあいネット」のトップページ画面である。

平成25年8月のシステム改修により、情報検索の利便性を向上させるとともに、ビデオオンデマンドによる「蘇る石川の記録映像」(12本)と「ふるさとモット学び塾講座ビデオ」(年間10講座程度)の映像配信を開始した。

これにより指定の講座ビデオを

視聴し、視聴記録用紙を提出された方は、石川県立大学校教養講座の単位が修得できるようになった。

いつでも、どこでも、だれでも簡単にネットワークが利用できるユビキタスネット社会に対応した生涯学習情報提供システムに進化しつつあるといえる。

なお、平成25年度における「あいあいネット」の情報保有件数は約1万5千件、利用件数は約4万4千件であった。

## 三 まなびすとルーム

平成25年に、旧生涯学習情報センターは、県民の皆様親しみを持っていただけに、まなびすとルームと改称し、生涯学習の拠点として利用していただけたように、室内の様様替えも実施した。まなびすとルームにおいては、次の業務を行っている。

①生涯学習相談

「生涯学習に取り組んでみたい。どこでどんな講座が行われていますか。」「公民館で○○講座を行いたい。講師を紹介してほしい。」といった相談に応じている。相談は、窓口または電話で受け付けている。平成25年度の相談件数は、38



オープンスペースとなっており、当センター主催のあすなろ悠々塾や緑陰講座などを開催するほか、県民の方々が、生涯学習に関する講座、会議等にも利用することも可能となっている。

6件であった。  
②学習スペース  
左は、まなびすとルーム内に新たに設けられた学習スペースの様子である。

平成26年度は次のような団体にご利用いただいた。

- ・いしかわ生涯学習講師の会
- ・ファシリテーター養成講座修了生十の会
- ・北陸満友会
- ・石川地域づくり協会
- ・金沢大学地域連携推進センター
- ・金沢コミュニティシネマ
- ・金沢城・兼六園研究会

このほか、生涯学習に関する雑誌や新聞を置いてあり、閲覧することができ。

また、毎週水曜日にはビデオ上映会を開催するなど、一般の方に広くご利用いただいている。

### ③視聴覚ライブラリー

CD、DVD、VHSビデオ、16ミリフィルムなどの視聴覚教材を無料で貸出している。

「あいあいネット」で映像配信を行っている「蘇る石川の記録映像」と「ふるさとモット学び塾講座ビデオ」もDVD化し、貸出を行っている。

高校生以上の個人や公民館、学校などの団体を対象としており、講座や授業などの生涯学習活動に利用することができる。

所蔵教材は、CD約800枚、DVD約1200枚、VHSビデオ約6000本、16ミリフィルム約1500本である。

パソコン、タブレット端末、スマートフォン等を利用し、石川県生涯学習情報提供システム「あい

あいネット」に接続して、視聴覚教材をジャンル別やキーワードで検索することができる。

「あいあいネット」の利用が困難な方には、来談または電話による検索を受け付けている。

各市町主催の映像関係の講座（映画会等）へ、当センターの視聴覚ライブラリーが所有する16ミリ映画教材等を提供している。

また、16ミリ発声映写機の操作資格所有者がいない場合には、当センターから担当者を派遣し映写機を操作している。

さらに、16ミリ発声映写機操作技術者認定講習も随時実施することにより、市町の活動を支援している。

### ④マナビイコーナー（県民企画展示）

県民の方々が取り組んだ生涯学習の成果の展示発表と交流の場として利用されている。

平成26年度は、次のように幅広いジャンルの展示を行った。展示期間は概ね2〜4週間である。

- ・〇〇ながら「墨・彩」展
- ・くるみ書道会展
- ・「懐かしの昭和スター」展
- ・ぼれぼれ工房山の家作品展
- ・竹灯籠作品展
- ・昆虫の生態写真と標本展
- ・美川刺繍教室作品展
- ・「漢詩とつぼつば」展
- ・石川県児童生徒俳句大会入選作品展

- ・布絵本作品展
  - ・いしかわアートくらぶ作品展
  - ・悠久の土笛・手作りオカリナ展
  - ・兼六園と金沢城公園の四季及び植物の写真展
  - ・生涯学習センター所蔵色紙展
- なお、マナビイコーナーの展示内容は、当センターのホームページで随時紹介している

## 四 石川県視聴覚教育協議会

石川県視聴覚教育協議会は、本県の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的に昭和42年に設立された。

学習情報グループ内に事務局が置かれ、視聴覚教育に関する研究奨励及び指導者研修、学習情報の交換のための事業を行っている。主な事業は次のとおりである。

### ①視聴覚セミナー

視聴覚教育・生涯学習に携わる方々を対象に、視聴覚教育の理論と実際について学習し、併せて教育環境における現状と課題について研究協議を行っている。

### ②県民映像カレッジ

生涯学習センタービデオクラブ（SVC）の協力のもと、ビデオ撮影初心者を対象とし、映像作品制作のための基本や作品構成、パソコンによる編集技術を習得する講座を開いている。

受講された方は、石川県民大学校教養講座の単位が修得できる。

### ③ICT活用講座

生涯学習に携わる方々を対象とし、情報技術を活用した視聴覚教育講座を開催し、講座内容の利用・促進を図っている。

④いしかわビデオ作品コンクール  
学校教育・生涯学習教育における視聴覚教育の推進のため、ビデオ制作技術の向上を図っている。併せて、優秀なビデオ制作作品を表彰している。

⑤研修会等助成  
県内市町や生涯学習施設が実施する各種情報技術を取り入れた活用研修会について、その経費の一部を助成している。

## 五 おわりに

映像は文化であり、未来を切り拓く遺産ともいえる。貴重なアナログ映像をデジタル化する試みが全国各地で行われている。

学習情報グループは、メディア環境を利用し、映像のデジタル化・アーカイブ化の推進役を担っていく必要がある。しかしながら、デジタル化・アーカイブ化には専門的な素養も必要となる。

全国視聴覚教育連盟や大学、専門機関と連携し、地域の生涯学習施設を巻き込んだ研修を企画し、取組を進めていくことが、今後の課題である。

情報文化・映像文化の発信拠点として、県民の生きがいづくりの応援ができるような行政サービスをさらに進めていきたい。